

令和6年度

小・中学生フォーラム in 戸山小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

6月28日（金）、戸山小学校（百人町2-1-38、校長：古谷勉）の6年1組35名、2組35名が「新宿区をよりよくするために」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、新宿の現状や課題について、環境問題や防災、学校教育など様々な視点で調べ、そこから未来の新宿区をより良くするためにどうしたら良いのかを考え、スライドにまとめて発表しました。そして、普段自分たちが感じている疑問をもとに、新宿区が抱える課題の解決策についてしっかりと調べ上げ、熱心に区長に質問をしていました。

児童たちの発表後、区長からは各グループの質問に対して、新宿区の取組の紹介のほか、区で実現できることとできないことについても触れながら、一つひとつ丁寧に回答していました。児童からのごみ箱を増やしてほしいという提案に対して、「住民のマナーが改善されればゴミ箱の増設も実現可能になるので、マナーを守って生活してほしい。」と呼びかけていました。

区長からの回答後も、新たな疑問を持った児童から質問があり、自分たちのまちについて考え直す有意義なフォーラムとなりました。

